

県生協連 NEWS

●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日 2010年1月26日 (No.14)

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●電話・FAX：088-698-3910

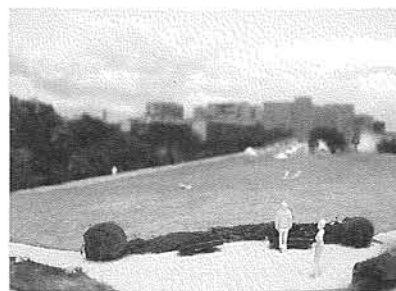
●HP：<http://kenren.jccu.coop/tokushima/>



現在：徳島大学の
西南の角

2010年春完成

2010年春完成
『助任の丘
(仮称)』



徳島大学は、昭和24年(1949年)5月に新制大学として発足し、平成21年(2009年)に創立60周年を迎えました。創立60周年にあたり、キャッチフレーズを「輝く未来をつくる徳島大学60-」とし、その趣旨を生かして関係者参加型の記念事業を実施しました。

学生の意見を取り入れ、工学部LED時計棟(工学部共通講義棟)前に学生・教職員の往来・憩える魅力的な広場とするシンボルストリートを創設。またこの4月には『助任の丘(仮称)』も完成します。

目次

表紙 徳島大学生協さんより徳島大学の紹介写真

p1 新年のごあいさつ(徳島県生活協同組合連合会：代表理事会長 阿部和代)

p2 会員報告 生活協同組合コープ自然派徳島、生活協同組合とくしま生協

p3 会員報告 徳島県学校生活協同組合、牟岐東漁業協同組合

p4 会員報告 徳島県職員生活協同組合、徳島大学生生活協同組合

p5 会員報告 徳島健康生活協同組合

p6 徳島県生活協同組合連合会活動紹介 「家庭でできるうどん作り教室」

謹んで新春のお慶びを申し上げます

徳島県生活協同組合連合会 代表理事会長 阿部和代



2010年の年明けを迎え、21世紀もそのただ中に乗り出していくという感を強くしています。なにはともあれ、気持ちに新しい風を吹き込んでくれ、新しいエネルギーをもたらしてくれる「新年」を迎えることができたことを喜び合いたいと思います。

とはいえ、深刻な不況から脱しきれない日本経済の中、くらしの不安は益々大きくなっています。昨年暮れに厚生労働省が発表した11月の勤労統計調査によると現金給与総額は前年同月比2.8%減の27万7261円となり18ヶ月連続で前年実績を下回ったとのこと。10月の完全失業者数は344万人で前年同月比で89万人増え、12ヶ月連続の増加となっています。金融広報中央委員会の「家計の金融行動に関する世論調査」によると老後の生活が心配と答えた人が84.3%にのぼります。将来の不安がある中で益々消費者の財布の紐は固くなり、景気を回復させる上では足かせとなっています。日本生協連の「くらしと家計簿」によると厚生労働省が発表した07年の子どもがいる一人親世帯の「相対的貧困率」はOECD加盟の30カ国中、日本は最下位の30位だということです。

去年は協同組合運動の父と言われる賀川豊彦が神戸で貧困のため厳しいくらしを余儀なくされていた人々の中に入って活動を始めて100年という記念の年にあたり、さまざまな角度から賀川から学び、生協運動の原点に立ちかえるチャンスに恵まれました。100年前貧困をなくすため、自立と協同を訴えてさまざまな社会運動を起こした賀川ですが、貧困という問題が決して100年前の問題ではなく今、私たちが乗り越えなければならない問題となっているとき、あらためて協同組合運動の社会に果たす役割とその可能性を問いかけてくれたように思います。

20世紀は大きな二つの世界大戦があり、核兵器が登場し、戦争の世紀と言われました。だからこそ、21世紀は平和の世紀にしようというのが人類の願いでもあります。その意味では昨年のおバマ大統領のブラハ演説以来、核兵器廃絶への具体的歩みを始められる希望が生まれています。今年、5月に開かれるNPT再検討会議に向けて今、広島長崎議定書の採択の実現へ運動がすすめられています。

県生協連は昨年、全国労働者共済生活協同組合連合会徳島県本部に加盟のご了解をいただき8会員生協となりました。協同の輪を一步一步広げながら本年も地域のお役に立てるよう力を合わせたいと思います。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。



生活協同組合コープ自然派徳島

〒771-0135 徳島市川内町平石若松 204-6

TEL 088-665-8181 FAX 088-665-8182

Eメール fureai@shizenha.co.jp

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 環 滋子 ●専務理事 北岡 徹

●組合員数 10,446人 ●事業高 12.4億円

新年明けましておめでとうございます。

2010年10月名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)/カルタヘナ議定書第5回締約国会議(MOP5)が開催されます。

生物多様性条約の目的は、1.生物多様性の保全、2.生物多様性を構成する要素の持続可能な利用、3.遺伝子資源の利用から発生する利益の正当かつ公正な配分です。

田んぼは、お米をつくるだけの場所ではなく多様な命を育むゆりかごであることを、私たちは田んぼの生きもの調査等を通じ学んできました。そして、小松島市の田んぼにふたたびナベツルが越冬のためにやって来るように、生産者ととも冬水田んぼを行いナベツルを呼び戻しました。このような活動により生物多様性の保全、持続可能な地域循環型農業を少しずつ広げることに取り組んでいます。

コープ自然派徳島は、食と農を守るために有機農業を推進しGMOフリーゾーン運動を広げます。農畜連携を進め地域資源の有効利用による高品質の農産物の生産、地域の環境を守る循環型農業を進めることにより食料自給率を上げ、地域社会に貢献できる生協になるよう努力します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

(専務理事 北岡 徹)



生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 板野郡北島町中村字東堤の内 30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

Eメール webmaster@tokushimaseikyou.or.jp

ホームページ <http://www.tokushimaseikyou.or.jp>

●理事長 阿部 和代 ●専務理事 梶原 樹

●組合員数 101,765人 ●事業高 104.2億円

新年明けましておめでとうございます。

昨年、長く続いてきた自民政権が選挙によって民主党政権に代わりました。議席数も300議席を超える圧勝で、それだけ多くの国民が民主党に期待したことの現れです。しかし、そもそも自民主党をぶっ壊してでも改革すると言って登場した小泉首相の構造改革は、社会格差を広げ、ワーキングプア・ネットカフェ難民を増やし、地方経済を疲弊させて、結局ぶっ壊したのは国民のささやかなくらしだったように思います。そこへ一昨年の一マンショック以降の日本経済の厳しさがくらしをますます圧迫し、とうとう我慢できなくなった国民が自民主党をぶっ壊してしまいました。皮肉な感じですが。

さて、昨年11月20日政府はデフレ宣言を行いました。持続的な物価下落が企業収益を悪化させ、賃下げや失業増を招くことへの危機感がますます高まっています。生協組合員の消費動向もさらに低価格志向や買い控えが強まることが予想され、事業的には厳しい状況が想定されるなかで、民主党政権には宣言をするだけでなくしっかりと対策や効果的な予算も立てていただいて、明るい2010年を展望できるようにしてほしいと思います。

昨年、秋の地域別総代会議を無くして組合員アンケートを行いました。参加する総代の人数は年々減少し、参加する総代も固定化される一方で組合員の層は幅広くなり、特に個配の伸長により普段会えない組合員や、会議や活動に参加できない組合員が増加しています。こういった層の声も方針に生かすために幅広い組合員からアンケートをとる方向に切り替えました。1600枚を上回る回収があり、生協加入の動機として「配達してくれて便利だから」が一番多いことも私には少し驚きでした。記述部分にはたくさんの声が寄せられ、そこには1人1人の組合員のくらしそのものが現われていました。大切なことは1人1人の組合員のくらしから寄せられる声に耳を傾け、要望を少しでも実現するために努力をしていくことです。このことが生協を強くしていくことだと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(常勤理事 細川 尚光)

徳島県学校生活協同組合

〒770-874 徳島市南沖洲5丁目 7-65

TEL 088-664-3225 FAX 088-664-4332

ホームページ <http://tokugaku.jp/>

●理事長 久保 修 ●専務理事 山下 敏光

●組合員数 8,221人 ●事業高 3.0億円

国会改革を断行せよ

リーマンショックから1年3ヵ月になる。経済状況は立ち直るところか、ますます深刻さが増しているように思われる。円高が進み、企業業績は回復せず、失業率も高く、デフレスパイラルに陥っているのではないかと言われている。

世界同時大不況からの脱却で我が国は大きく遅れをとっている。活力があり、生き生きと働く社会からは程遠い現実がある。その原因として最も重要なのが、財政の悪化である。

国の累積赤字残高は760兆円を超えている。国民一人当たり700万円にも達しようとしている。その金利分だけでも1日260億円になる。1時間では10億円以上となる。

国の借金は国民の借金である。赤字国債依存とその金利負担の増大に歯止めをかけない限り将来展望は描けない。若者が夢と希望をもて、意欲をもってチャレンジできる国ではない。

これ以上先延ばしをし、後世にこれ以上のつを回すことは許されない。

この窮状を嘆いてばかりいても問題は解決されない。解決の方法として、消費税の引き上げしか選択肢はなからう。

しかし、消費税引き上げに対する国民のアレルギーは途方もなく大きい。国民の合意を得るには、行政改革を断行することが絶対条件であり大前提である。

まず、国会議員の数を半分にするか、議員の歳費を半分にするか参議院を廃止するかであろう。公設秘書も半減する。また、道州制をすばやく導入する。アメリカのカリフォルニア州は本州よりも広い。101ある国の特殊法人を統廃合する。少なくとも半分にはする。公務員も思い切って削減する。

国会議員が自ら血を流す覚悟をしなければ、ことは始まらない。抜本改革の待ったなしのスピードが求められる。これ以外に財政悪化に歯止めをかける方法はないように思う。
(理事長 久保 修)

牟岐東漁業協同組合

〒775-0012 海部郡牟岐町大字牟岐浦字宮の本 268-4

TEL 0884-72-1141 FAX 0884-72-1140

Eメール marugin@nmt.ne.jp

●組合長理事 井元 健二

●組合員数 194人 ●事業高 2.6億円

新年明けまして、おめでとうございます。

年明け早々の新聞や、TVは一斉に新しい年の政治や経済の予測を取り上げ、あゝでもない、こうでもないと報じております。

しかし気になるのは、そのやり方です。政治や経済の活動を、まるで自然災害現象の如くとらえ、情緒的にまくしたてて予測論争をしております。これでは、あたる、あたらないは別にして、無茶苦茶言い放し、無責任とちがうか…と一言いいたくになります。そうではなくて、政治や経済は人々が担う活動です。決して自然が担う活動ではありません。であるなら、肝心の人々の気持(心理)が私ならこうしますという意志表示を明確にして、始めて物事は動き始めます。そして、その方向性を決めるのは、勿論、その覚悟とそれに伴う責任の裏づけがあって、決定的になることは、言うまでもありません。その意味でいいますと、今、予測困難な状況にしているのは、私達一人一人があまりにも自己責任と覚悟を放棄して、他人まかせの政治、他人まかせの経済にしまっているからだともいえます。食料・エネルギー・自然環境と文明社会、人口格差と国のあり方、等等これらは誰かさんの問題ではありません。私達一人一人に与えられた課題であり、全て、私達が答えを出さなければなりません。「私ならこうする」と、腹をくくらなければならないのです。したがって、2010年は、人類の将来を見据えた正念場の年になる。私はこう予測したのです。

(組合長 井元 健二)

徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目(県庁内)
TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170
●組合長 齋藤 秀生 ●専務理事 谷本 通
●組合員数 4,113人 ●事業高 4.0億円

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。さて、徳島県においては、職員給与の臨時的削減措置(20年度から22年度)を実施中であることはすでにご承知のことと思います。生協の組合員であり、利用者である県の職員もこの措置によりラスパイレス指数が全都道府県中最下位といった厳しい環境の中にあります。このような状況は、生協の事業にも反映され昨年にも増して厳しい運営が確実に予想されます。年明け早々の悲観的な話はさておき、後半はNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」によせてのお話。このドラマは3人の主人公がいますが、昨年の放送分では、「本木雅弘」演じる秋山真之に軸をおいた脚本となっていました。しかしながら、幼少のころの真之を支えたのは兄であり、その人生観に大きな影響を与えたのも兄です。秋山信三郎好古と言ったこの兄は、侍の一番下の「足軽」のすぐ上という貧乏な秋山家の三男坊です。彼がいなければ日本海海戦の作戦を考案した連合艦隊作戦参謀秋山中佐は存在しなかったのですが、その兄はといえば、当時世界最強といわれたロシアのコサック騎兵を打ち破ること(互角に戦えたのは事実)、この一点に軍人としての生涯をかけた人物です。後年「日本騎兵の父」とよばれたこの男も最初は教育者(教師)を志していました。そして、陸軍を退役した後、久松伯爵(旧松山藩主)等に請われ、また本人の強い希望もあって、退役陸軍大将の仕事としては相当に格下の北予中学校(現、県立松山北高校)の校長として、その死(71歳)の半年前までの6年間を教育者として勤めています。彼の座右の銘が、「一身独立して、一国独立す。」です。独立とは、自分で自分の身を支配し、他に依りすぎる心なき気概をもってその分(各々の学問やその専門的事象に取り組むこと)を尽くすことらしい。解ったようで解らないようで甚だ心細い限りですが、この気概をもって今年の目標としてみたいと思っています。本年もよろしくお祈りします。(専務理事 谷本 通)

徳島大学生生活協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1
TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811
ホムパース

<http://hal.seikyoku.ne.jp/home/tokushima-shop/>
●理事長 仙波 光明 ●専務理事 清水 麻理子
●組合員 10,332人 ●事業高 12.6億円

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。

昨年、オープンした新店舗と新しく取り組んだ住まい管理事業を紹介します。

工学部地区に新店舗オープン!
『CAFE San-Jyo (さんじょ)』

昨年11月念願の工学部地区に新店舗「CAFE San-Jyo (さんじょ)」がオープンしました。店内30席弱のとっても小さなお店ですが、これまで生協施設がなかった工学部に店舗を構えることができたことは大きな一歩です。ちょっと一息くつろぐには最適な空間です。未永く組合員に愛される店にしていきたいと思えます。



徳大生の生活をまるごとサポート
『住まいの管理事業をスタート』

昨年春より、住まい(アパート・マンション)管理事業を開始しました。紹介(斡旋)だけでなく、入居から退去まで、在学中、安心して学び、生活できるサポートを行います。住まい管理事業を通して、学生と地域とのつながりづくりにも取り組んでいきたいと思えます。



(専務理事 清水麻理子)

徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/%7Ehcoopt/>

●理事長 岡島 文男 ●専務理事 楠藤 義朝

●組合員 41,573人 ●事業高 38.5億円

どおり「協同」の力を発揮して2010年が県民にとって健康増進、そして幸せな年となるよう、いっしょに頑張りましょう。健康生協は地域の「健康づくり」のために大きく貢献できるよう頑張りますので今年もよろしくお願ひします。

「権利である社会保障」の実現と、県民の健康を守るために「協同」を大切に今年も元気に頑張りましょう。

徳島県生協連加入の組合員のみなさん、あけましておめでとうございます。新しい年を元気でみなさんとともに迎えられる事を心よりうれしく思います。

私たち健康生協は1961年に設立し、一貫して県民のいのちと健康を守るために取り組んできました。来年50周年を迎えます。組合員も4万人を超え、31の支部と約350の班で、血圧・尿・体脂肪チェックを組合員自らの手で行い、「自分たちの健康は自分たちの手で」守る日常的な保健予防活動をすすめました。また、様々な地域の催し物や、スーパーなどの店舗で「青空健康チェック」を行い、地域での健康づくり運動を継続しています。

去年は「いのちの大運動」に取り組んできました。「支え合い対話」では去年は5,800人の県民のみなさんとの対話を行い、一昨年からの累計で約19,500人との対話を行っています。その中では、健康に対する心配や生活の厳しさ、そして将来への不安などが切々と訴えられています。また、政府の対応のまずさによって大混乱となった新型インフルエンザに対する不安もたくさん聞かれました。このように生活と健康不安が広がる情勢のなか、徳島県における健康生協の役割はさらに大きくなっていると気持ちも引き締まる思いです。昨年夏に政治が大きく動きましたが、私たち健康生協は「後期高齢者医療制度」の廃止をはじめ社会保障の充実のために、署名活動や社会保障充実要求カード、県内外の集会への参加を進めてきました。私たちを含めた全国の運動が政治を変える大きな原動力となりました。

健康生協は、医療崩壊を食い止め、憲法に保障された「権利である社会保障」の実現で、国や行政が住民のいのちと健康に責任を持つ社会の実現を目指しています。日常の医療・介護要求にしっかりと応えながら「安心して健康で住み続けられる徳島」づくりのために今後もさらに努力していく決意です。

協同の力は大きく、その力は政治の変化として実証されました。徳島県生協連に加入する組合員17万6千人の組合員のみなさんが、要求でしっかり手を結び、文字



家庭でできるうどん作り教室

自分で手打ちうどんを作ってみませんか。意外と簡単にできるんですよ。今回は「さぬき丸一製麺」からプロがきて教えてくれます。

応募方法

日 時 2010年2月20日(土)
9時30分受付、9時45分スタート、13時終了予定

場 所 とくしま生協 コープ住吉 調理室・会議室
徳島市住吉5丁目50番地

募集人数 24人(親子の参加を歓迎。1人でもOKです。)
応募者多数の場合は抽選(親子を優先)

参加費 無料

もちもの エプロン、三角巾、タッパー(うどんがあまったら持って帰ります。)
麺棒をお持ちでしたら持ってきてください。

応募方法 お電話でお願いします。
TEL 088-698-0505
徳島県生活協同組合連合会 細川まで
住所、氏名、年齢、電話番号をお聞きます。
※ 締め切り2月5日(金)



うどんの食べ方大募集

我が家の自慢のうどんの食べ方、おいしい食べ方を教えてください。

かまたま、釜揚げ、焼うどん、うどんのあんかけ、うどんスパゲッティなどなど・・・

応募方法

うどんの食べ方を紙に書いて郵送してください。写真などもあれば同封してください。
住所、氏名、年齢、電話番号をお忘れなく。

送り先

〒771-0203 板野郡北島町中村字東堤の内30-3 とくしま生協内
徳島県生活協同組合連合会 細川行き

※ 応募者の中から抽選で10名の方に「さぬき丸一製麺」のうどんプレゼント

※ 締め切り1月31日(日)

※ 応募された内容は2月20日の「うどん作り教室」で発表します。